



途中出場でチームに活気を与えた東平。ユニバー代表にも選出された



久々の出場となった桑原(左)。浜松大にほとんどチャンスを与えず、危ない守りを見せた

先制点をアシストした小林亮(右)。本職のディフェンスではいぶし銀のプレーを見せた



## MAN OF THE MATCH

**FW 赤嶺真吾**

この試合3得点をあげ、FWとして申し分ない働きをした赤嶺。これからますます激しさを増すであろう戦いを前に、エースである彼が得点を決めているのはチームにとっても頼もしいことだ。



【上】右サイドで出場した鈴木亮。何度か決定的チャンスもあったが、ゴールには至らず  
【右】連戦での疲れも見せず奮闘した選手たち(写真は中後)



7月7日 13:00 神戸総合運動公園ユニバ記念競技場	
<b>駒大 3(1-0)0 浜松大</b> (関東第3代表) (東海第1代表)	
得点者(アシスト)	
【駒】11分: 赤嶺真吾 2 (小林亮 1)	
【駒】68分: 赤嶺真吾 3 (東平大佑 1)	
【駒】71分: 赤嶺真吾 4	
<b>KOMAZAWA</b>	<b>HAMAMATSU</b>
GK① 太 洋一(4)	GK① 新田悟司(2)
DF④ 小林 亮(4)	DF⑥ 中井崇之(4)
DF⑤ 鈴木祐輔(4)	(70分)⑦ 小田竜也(3)
DF② 桑原 靖(3)	DF②⑩ 柴田慎吾(1)
DF③ 筑城和人(2)	DF⑨ 原 勇作(1)
MF⑥ 中後雅喜(4)	DF⑤ 祖父江純太(2)
MF⑩ 小野里銀児(1)	(55分)⑮ 岩田卓也(3)
(77分)⑧ 関 光博(4)	MF③ 土屋 真(3)
MF ⑬ 鈴木亮平(3)	MF② 新井裕二(4)
MF⑧ 中嶋祐太(4)	(60分)⑨ 三原豊昭(4)
(64分)⑭ 東平大佑(1)	MF⑧ 渡邊 俊(4)
FW⑨ 赤嶺真吾(3)	MF⑩ 大石哲也(3)
FW⑪ 一樹(2)	FW⑪ 萩田祐介(2)
(84分)⑯ 塚本泰史(1)	FW⑭ 石館靖樹(2)
<b>S U B</b>	<b>S U B</b>
GK① 牧野利昭(3)	GK① 青木智靖(4)
DF③ 大澤陽介(4)	DF④ 富松範臣(4)
DF⑨ 菊地光将(1)	MF⑧ 山ノ井隆義(2)
MF⑩ 小林竜樹(1)	FW⑩ 小手川正忠(1)
<b>MANAGER</b>	<b>MANAGER</b>
秋田浩一	長谷川健太
警告(C)/退場(S)	
【駒】1分: 鈴木祐輔 (C)、60分: 桑原靖 (C)	
【浜】35分: 萩田祐介 (C)、39分: 渡邊俊 (C)	
[シュート]13:13[枠内シュート]4:3 [決定機]6:1 [CK]14:15	
[CK]2:5[FK]0:0[直接FK]15:16[間接FK]2:3[OS]2:3	
[主審]辺見康裕[観衆]約300人	
※上記データは全て左側の数字が駒澤。枠内シュート、決定機は本誌記者による記録です	

### ◆2回戦試合結果◆

- 道都大学 1 - 2 明治大学
- 駒澤大学 3 - 0 浜松大学
- 静岡産業大学 2 - 1 阪南大学
- 国士舘大学 0 - 2 桃山学院大学

この結果、9日に行われる準決勝(於・長居第二陸上競技場)のカードは以下の通りになった。

(第1試合)  
静岡産業大学—桃山学院大学 (16:00~)

(第2試合)  
駒澤大学—明治大学 (18:15~)

道都大(左)に競り勝った明大。駒大はこの明大と準決勝で対戦する



## 2回戦 監督&選手コメント

### 秋田浩一監督

「まだ、出来はよくない。ディフェンスの動きが薄い。外(サイド)を使えない。今日の試合はたまたま東平が出てからサイドを使うことができた。(ここまで)たまたま勝っているだけ。関東大学サッカー選手権大会準決勝で明治に負けている(0-3)から雪辱を晴らしたい」

### 鈴木祐輔主将

「得点は3点入りましたがすべてが納得のいく試合ではなかったんでまずまずです。前半見てもこぼれ球を拾えなかったり、やっぱりチームとしてというよりも個人個人というバラバラな感じがしました。後半になってからは少しずつこぼれ球が拾えるようになってサイドからの攻撃も徹底できた。初戦のかたさは無くなったけどトーナメントなのでどうしても負ければ終わりというプレッシャーは少なからずありました。後半はできていない部分をみんながやろうとして、悪いところに気づいて修正できたのが良かったです。無失点だったことは大きいです。次も絶対無失点でいけるようにしたいです。修正をあげるとすれば、試合の入り方がすごく悪いので、もっと良くすれば前半からうちのペースでもっと楽に試合を進めることができるからもっと意識してやっていきたいです」

### 赤嶺真吾選手

「(得点は)いいボールが来たからそれを決めるだけでした。決められてよかったです。次勝てば天皇杯の出場権が手に入るので頑張ります」

### 中後雅喜選手

「連戦ということで疲れがありました。本当に立ち上がりがよくなくて、前半はいつ失点してもおかしくない状況でした。ここ最近連戦ということがなかったし、この暑さもあってキツイです。でもやるしかない。今日の試合は、先制したんですけど、逆転されてもおかしくなかったです。そこでハーフタイム、しっかりやろうって確認して後半に点とれて。次にやるときは後半のような試合への入り方をしたいです。そういう意味では後半はサイドも使えたし、次につながる戦いでした。相手は11番の選手が速いので、警戒していました。ディフェンス面においてコミュニケーションという部分でまだ足りない。前半はプレスが遅くなってしまったし、いろいろなミス、イージーミスが多くて自分たちでリズムを崩してしまいました。準決勝はまず自分たちのサッカーをして、結果を出して、決勝に行って戦いたいと思います」